

家事や子育ては誰が するものなの？

家事や子育ては女性がするもの？男性がするもの？性別によって決まっているのでしょうか？





私たちは「男だから」、「女だから」と口にすることがよくあります。一人ひとりの個性や能力、向き不向きは性別によって決まっているのでしょうか。「男だから」「女だから」という固定的な考えにとられて、自分の可能性をあきらめるのではなく、多様性を認め合い、ひとりの人間として、様々な選択のできる社会を築いていくことが大切ではないでしょうか。

「神戸市男女共同参画計画」と「ワーク・ライフ・バランス」

神戸市では、市民のだれもが性別によって活動を制限されることなく、一人ひとりを尊重し、喜びも責任も分かち合いながら、その個性と能力を発揮することができる「男女共同参画社会」の実現を目指しており、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」を進める取り組みに力を入れています。

仕事は、暮らしを支え、生きがいや喜びにつながるものですし、それと同時に家事、育児、近所の人の付き合いなどの生活も暮らしに

欠かすことのできないものです。どちらも大切にしたいという希望がかなう社会づくりには、ワーク・ライフ・バランスが欠かせません。

中学生の皆さんにとっては、勉強と部活あるいは、学校とプレイベートなどを思い浮かべると分かりやすいかもしれませんが、どちらも大切にしたいという希望がかなうと嬉しいですね。

※「参画」という言葉は、単なる「参加」ではありません。学校、職場、地域、家庭などあらゆる分野で、何かを決める段階から積極的に関わるといった意味がこめられています。

